

平成23年度学内版 GP 成果報告書

取組名	自然科学館を拠点にした、 歴史環境・自然環境診断・自然再創生活プロジェクト
実施組織	理学部
実施責任者	佐藤利幸
取組の目標	信州大学自然科学館の充実・中部地域からの生命系再創生活
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>(1) 植物標本(SHIN)のレンガからの運搬・展示</p> <p>(2) 2011年8月6-7日に公開事業「信州自然誌科学館「自然のからくり」」を実施し、150名の参加があった。</p> <p>(3) 2011年、生物学基礎実験・博物学セミナー・社会人セミナーでの講義を行った。のべ110人の参加である。</p> <p>(4) 北海道大学総合博物館における公開展示のオープニング会議に出席し、今後の科学館展示の方法について相談を行った。</p> <p>(5) ロックガーデンの試作をおこなった。</p> <p>(6) グリーンエコスポットの準備を科学館屋上および入山辺にて行った。</p> <p>(7) 標本アーカイブ(画像取り込みとデータベース)の入力作業を開始した。</p>
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	<p>(1) 信州大学自然科学館は2011年度には、外装・各部屋の内装(壁ぬり)が終了し、2012年8月の正式公開をめざして、準備できる予定である。</p> <p>(2) 2012年度全学教育機構環境講義「自然科学館に学ぶ生命系再創生活」を実施する予定である。</p>